

# 神戸市地域支援機能強化事業

社会福祉法人 ヨハネ会 いたやど障害者地域生活支援センター  
〒654-0023 兵庫県神戸市戎町 3 丁目 5-1

## 助成事業の概要

**開催目的：**障害のある方が地域で住み続けることができ、隣近所に少しずつ繋がりを作っていけるよう、地域住民や福祉従事者に対する障害理解の推進・継続を目的としています。

**時期：**令和 1 年 10 月 26 日 (土) 14:00 ~ 16:00

**開催場所：**神戸常盤アリーナ (兵庫県立文化体育館) 小ホール

**内容：**高齢者、障害者、子どもそれぞれの福祉について行政で検討され、充実してきています。一方で、高齢者、障害者、子どもと一緒に暮らし、家族が構成され地域が作られています。その為、個々の制度だけでは補えない生活のしづらさが見られます。講師である惣万佳代子氏は、個人や家族のニーズに寄り添える地域と社会資源を作ろうと、平成 5 年に「このゆびと～まれ」を設立されました。第 1 部では、惣万氏に地域共生社会の先駆けとなった「このゆびと～まれ」の開所時のエピソードから、現在の様子、今後の展望までを語って頂きました。第 2 部では、惣万氏と来場者とが質疑応答・意見交換をし第 1 部の内容を深めました。

## 事業の成果

1. 講演会参加者は 60 名で、アンケート回収率は 68.3%でした。

2. 参加者の内訳として、地域住民、学生、相談支援専門員、在宅ヘルパー、障害福祉施設職員、

ケアマネジャー、訪問看護、コミュニティカフェの運営機関、フリースクール経営等の教育関係者、社会福祉協議会職員、行政職員等でした。

3. 今回の講演会では、助成金を利用したことで、富山県から惣万氏に来ていただくことができました。そのことにより、この事業の講演会に初めて参加された方や神戸市以外の都市部から参加された方等、幅広い地域の方が参加されました。改めて、「地域共生」に興味関心を持つ方が多いことを実感しました。

4. 講演会の第 1 部では、共生型サービスについてだけでなく、個人・社会のニーズを捉え、そのニーズに応えるサービスを開拓された経緯、行政を巻き込み制度につなげた働きかけ、も聞くことができ、貴重な時間となりました。惣万氏の言葉が制度の狭間で困った経験のある方、介護や支援に携わっている方等の印象に残り、今後実践していくうえで活気に繋がったように感じました。第 2 部では、質疑応答だけでなく、会場がステージと客席が近い特徴を活かし、来場者も登壇してもらい地域の取り組みを語っていただきました。惣万氏から来場者への質問もあり、富山弁と神戸弁が交差しながらアットホームな雰囲気の中で話を深める時間になりました。来場者の方には、誰もが安心して暮らせる地域を作る大切さや素晴らしさを、福祉に携わっている者にとっては、支援を提供するだけでなく開拓していく役割があることを教えて頂きました。

## 成果の広報、公表

啓発していきたいと考えています。

成果の広報・公表につきましては、本講演会の報告書を作成し、協力機関には郵送予定です。

神戸市内の障害者地域生活支援センターでの連絡会でも報告します。成果及び課題を共有することにより、今後より質の高い障害者の地域移行の推進及び地域生活の継続支援を目的とした活動に役立てていきたいと考えます。

また、当法人のホームページのブログでは、講演会の開催情報及び実施報告を行いました。

社会福祉法人ヨハネ会

ホームページ URL <https://yohanekai.or.jp/>

## 今後の展開

神戸市地域支援機能強化事業では、入所施設・病院からの地域移行・地域定着を推進していくことを目的としています。その為には安心して生活ができる場・地域が必要になります。地域啓発として行っている講演会は今回で6回目となりました。富山県から惣万佳代子氏にお越しいただき、話題となっている「地域共生」をテーマに話をいただきました。惣万さんを講師に招いたことで、初めて参加される方や神戸市以外からの来場者がいました。住民の興味関心に寄り添った講演会を開催できたと実感しています。

アンケートには、障害当事者の講演会の開催をしてほしいと記載がありました。神戸市須磨区、長田区、兵庫区等の地域で頑張っている当事者の人を紹介したり、地域の人とのつながりを紹介したりすることも啓発の一つとなると考えます。また、制度のことも知りたいと記載がありました。個のニーズ、家族のニーズ、地域のニーズ等を捉えながら、すぐに生活に生かせる内容から専門的な内容、長期的な視点を持った内容など、幅広く